

平成23年度 教育実践総合センター活動概要

1. 構成員

センター長（併任）：教授 岡 直樹

専任教員：

《学校教育相談実践部門》

教授 岡 直樹 教授 栗原 慎二

特任助教 エリクソン・ユキコ 特任助教 外山 智絵

研究協力員 中村 涼（安田女子短期大学准教授） 池田 隆（広島県立教育センター）

坂出 義子（バーミンガム大学国際教育研究センター）

《教育実践研究開発部門》

准教授 二井岡 直文

事務補佐員：竹ノ中亜由美

2. 主催・共催による公開講演会・シンポジウム・研究会等の活動

(1) 子どもの心と学び支援セミナー

①子どもの心と学び支援セミナー：『WISC-Ⅲを用いた子どもの支援の実際』

期日：平成23年7月9日（土）

場所：比治山大学6号館201室

講師：バーンズ 亀山 静子（ニューヨーク市公認スクールサイコロジスト）

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生 参加者数：80名

②子どもの心と学び支援セミナー：『アサーション - 自分も相手も大切にするコミュニケーション - 』

期日：平成23年9月23日（土）

場所：広島大学教育学部第3・第4会議室

講師：高橋均（山口芸術短期大学）・林原慎（福山平成大学）・西敦子（山口大学）

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生 参加者数：50名

③子どもの心と学び支援セミナー：「Understanding Peer Support（ピア・サポートの理解）」

期日：平成23年10月6日（木）

場所：広島大学教育学部第1会議室

講師：トレバー・コール（元ヴィクトリア大学教授・Continuous Learning Curve 主催）

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生，大学教員 参加者数：30人

④子どもの心と学び支援セミナー：『アセスの使い方・活かし方』

期日：平成23年11月19日（土）

場所：比治山大学6号館206室

講師：栗原慎二（広島大学） 事例発表者：中司博之（城山北中学校 教頭）

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生 参加者数：60名

⑤子どもの心と学び支援セミナー：『共同学習』

期日：平成24年1月21日（土）

場所：広島大学千田キャンパス205号

講師：沖林洋平（山口大学）

実践発表：宇城昌理子（広島市立宇品東小学校）

事例発表：森俊郎（岐阜県各務原市立緑苑小学校）・中村孝（広島大学大学院
教育学研究科博士課程後期）

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生 参加者数：80名

⑥子どもの心と学び支援セミナー：『WISC-Ⅲ入門』

期日：平成 24 年 2 月 20 日（土）
場所：広島大学教育学部 L304-1
講師：木船憲幸（広島大学）
対象：教職志望の大学生・大学院生 参加者数：15 名

⑦子どもの心と学び支援セミナー：『環境移行（仮題）』

期日：平成 24 年 3 月 24 日（土）
場所：比治山大学 6 号館
講師：石井眞治（比治山大学）
対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生

(2) 教員養成講座

①「教師生活 1 年目の充実のために～学校の 1 年間を見通して」

期日：平成 24 年 1 月 26 日（木）
場所：広島大学教育学部 L304-1
講師：二井岡直文（広島大学〔実務家教員〕）
対象：教職志望の大学生・大学院生 参加者数：30 名

≪本講座は、本採用及び臨時的任用等の初任教員となる者あるいは教員を志望する者が、その力量を十分に発揮するため、4 月からの教育現場での実際について見通しを持ち、意欲を高めることを目的として、校務への取り組み方を中心に実務家教員による講話を実施した。≫

3. センター専任教員による学外講演等の活動

(1) 生徒指導・教育相談，認知カウンセリング，学習支援，アセスメント等に係る講演・演習指導

期間：通年（160 回） 独立行政法人教員研修センター 平成 23 年度生徒指導指導者養成
対象：主に教員，保護者 人数：約 7500 名

(2) 「いじめ問題の理解と対応」 独立行政法人教員研修センター 平成 23 年度生徒指導指導者養成研修

期日：平成 23 年 6 月 24 日
場所：独立行政法人教員研修センター
人数：80 名

(3) 「総社市不登校対策研修会」 総社市教育委員会

期日：4/25，4/26，5/23，6/9，6/13，7/4，8/22，8/23，10/4，12/2，3/9）
人数：約 1800 名

(4) 「生徒指導の三機能を生かした授業づくりについて」 福山市立済美中学校校内研修会・同校公開研究会

期日：5/13，8/4，10/14，1/27
人数：約 150 名

(5) 「授業に生かす生徒指導の三機能」 福山市立芦田中学校校内研修会

期日：平成 24 年 2 月 7 日
人数：10 名

4. 研究活動

(1) センタープロジェクト研究

① 広島市との連携、研究協力に基づく共同研究

「生徒指導主事を対象とした研修プログラムの開発的研究」

② 岡山県総社市との協力に基づく共同研究

「マルチレベルアプローチによる生徒指導改革の研究」

③ 「日本版包括的アプローチと生徒指導・教育相談研修プログラムの開発的研究」

(2) 平成 23 年度教育学研究科共同研究プロジェクト

「子どもの心と学び支援実習が学生の専門的実践力育成に及ぼす効果(2)」

5. 教育・社会貢献事業

(1) にこにこルーム（学校心理教育支援室）

《学習相談》 にこにこルームの学習相談に参加した学生は 58 名。

① 前期（2011 年 5 月 11 日から 2011 年 7 月 27 日）水曜日の活動

東広島市内の小学校 9 校から 4 年生以上の児童 15 名を抽選で選び、5 月 11 日から 7 月 27 日までの計 12 回、毎週水曜日に認知カウンセリングとレクリエーションのセッションを行った。時間は、午後 5 時 30 分から午後 7 時 20 分までの 110 分で、算数の認知カウンセリングを 60 分、レクリエーションを 45 分、保護者も交えた帰りの会を 5 分を行った。セッション終了後、毎回ケース検討会を行った。

【月曜日・火曜日の活動】

- ・ 2011 年 5 月から 7 月にかけて、2010 年度に算数・数学の認知カウンセリングを受けた中学校 1 年生 2 名・2 年生 1 名の生徒 3 名に対して、毎週月曜日（1 名）・火曜日（2 名）に数学の認知カウンセリングを 60 分を行った。
- ・ 2011 年 5 月から 7 月にかけて、にこにこルーム個別学習相談にて受け付けた小学校 3 年生 1 名・5 年生 2 名・6 年生 1 名の児童 4 名に対して、毎週月曜日（1 名）・火曜日（3 名）に算数・国語の認知カウンセリングを 60 分を行った。

【前期のその他の活動】

2011 年 6 月から 7 月にかけて、東広島市内の児童養護施設にて毎週火曜日・土曜日・日曜日に学習支援を行った。参加学生は 10 名。

② 夏休み

2011 年 8 月 2 日から 4 日の 3 日間、1 回あたり 60 分、小学生・中学生を対象に認知カウンセリング（サマー・セッション）を行った。参加者および参加学生は、それぞれ 20 名。

【夏休みのその他の活動】

2011 年 8 月 8 日から 10 日の 3 日間、広島市内の公立中学校にて学習支援を行った。参加学生は 9 名。

③ 後期（2011 年 11 月 2 日から 2012 年 2 月 8 日）水曜日の活動

東広島市内の小学校 14 校から 4 年生以上の児童 16 名を抽選で選び、11 月 2 日から 2 月 8 日までの計 12 回、毎週水曜日に認知カウンセリングとレクリエーションのセッションを行った。時間は、午後 5 時 30 分から午後 7 時 20 分までの 110 分で、算数の認知カウンセリングを 60 分、レクリエーションを 45 分、保護者も交えた帰りの会を 5 分を行った。セッション終了後、毎回ケース検討会を行った。

【月曜日・火曜日の活動】

- ・ 2011 年 11 月から 2012 年 2 月にかけて、2010 年度に算数・数学の認知カウンセリングを受けた中学校 1 年生 1 名・2 年生 1 名の生徒 2 名に対して、毎週月曜日（1 名）・火曜日（1 名）に数学の認知カウンセリングを 60 分を行った。
- ・ 2011 年 11 月から 2012 年 2 月にかけて、にこにこルーム個別学習相談にて受け付けた小学

校3年生2名・4年生1名・5年生2名の児童5名に対して、毎週月曜日（3名）・火曜日（2名）に算数・国語の認知カウンセリングを60分行った。

【後期のその他の活動】

- ・ 2011年9月から2012年2月にかけて、東広島市内の児童養護施設にて毎週土曜日・日曜日に学習支援を行った。参加学生は8名。
- ・ 2011年8月から2012年2月にかけて、広島市生活保護受給世帯学習支援事業に毎週木曜日、学生ボランティアとして参加した。参加学生は3名。
- ・ 2011年11月から2012年2月にかけて、東広島市内の公立小学校にて毎週月曜日・金曜日に学習支援を行った。参加学生は7名。
- ・ 2011年11月13日・12月25日に広島市内で行われた農業体験活動に学生ボランティアとして参加した。参加学生は、15名。

④春休み

2012年3月2日・5日・6日の3日間、1回あたり60分から90分、小学生・中学生を対象に認知カウンセリング（スプリング・セッション）を行った。参加者および参加学生は、それぞれ22名。

また、後期のその他の活動に参加した学生は春休みも継続して参加した。

にこにこ広島ルーム

にこにこルーム個別学習相談窓口にて受け付けた小学生から高校生までの児童・生徒12名に対して、火曜日（5名）・木曜日（7名）に算数・理科・数学・英語の認知カウンセリングを30-60分行った（教科・時間についてはそれぞれの相談のニーズにあわせて決定した）。

平成23年度に実施した学習相談の延べ相談件数は、にこにこルームが90件、にこにこ広島ルームが11件であった。また、延べ面接回数にはにこにこルームが614回、にこにこ広島ルームが61回であった（平成24年3月8日現在）。

《学校臨床相談》

一年間を通じて臨床心理士と大学院生の学生支援員による学校臨床相談活動を実施した。1回の面接は50分で、原則10回～15回を上限とした回数限定でカウンセリング、ソーシャル・スキル・トレーニング等を行った。学生支援員が担当するケースの判別は臨床心理士が行い、インテーク面接の実施後、学生が児童生徒の面接を担当した。学生の担当する面接の前後30分はスーパービジョンを行い、また、ケース検討会において公開スーパービジョンを実施した。

①にこにこ広島ルーム臨床相談（毎週土曜日）

広島市内の相談室において、毎週土曜日（10:00～16:30）に完全予約制で相談活動を行った。来談件数は22件で、延べ相談件数は99回であった（1/20現在）。相談に訪れたケースは小学校2年生～高校1年生までで、不登校および不登校傾向に関する相談、いじめに関する相談、発達障害に関する相談等が中心であった。広島ルームでの支援員は3名で、児童生徒を対象にソーシャル・スキル・トレーニングやカウンセリングを実施した。

②にこにこ東広島ルーム臨床相談（毎週日曜日）

広島大学キャンパス内の相談室において、毎週日曜日（10:00～17:30）に完全予約制で相談活動を行った。来談件数は9件で、延べ相談件数は63回であった（1/20現在）。相談に訪れたケースは小学校4年生～高校1年生までで、不登校および不登校傾向に関する相談、いじめに関する相談、発達障害に関する相談、その他精神症状に関する相談であった。東広島ルームの支援員は7名で、児童生徒を対象にソーシャル・スキル・トレーニングやカウンセリングを実施した。

③定期ケース検討会（木曜日 18:00～20:30） 延べ 19 回

前期・後期共に定期ケース検討会を実施した。参加学生はあらかじめ登録した 33 名で、臨床心理士及び学生支援員の担当するケースの事例検討会を行った。

(2) 学校コンサルテーション活動

概要：学校での生徒指導・教育相談に関するコンサルテーション

時期：通年（64 回）

対象：教員および保護者等 人数：延べ約 140 名

(3) フレンドシップ事業「ゆかいな土曜日」

教育実践総合センターの教員をはじめ学内委員 16 名から成るフレンドシップ事業運営委員会を組織し、その運営にあたった。

《活動の形態及び内容》

平成 23 年度は「地域教育実践 I・II」の授業として通年で開講した。

活動は、H23.5 から H24.2 にかけて月例活動 9 回、保護者懇談会 1 回（7/16）、シンポジウム 1 回（2/18）を行った。月例活動の活動時間帯は、午前 10 時から午後 4 時。参加学生は、受講学生と単位を必要としないボランティア学生を含め 106 名。児童は東広島市立小学校 35 校から募集した 118 名。地域協力者は、東広島市下見地区を中心とする 19 名。児童 7～8 名と学生 5 名で 1 班とし、16 班を編成し、ミッション（4 班）、エンターテナー（4 班）、あそび（4 班）、タイムトラベル（4 班）の 4 グループに分けてグループ活動や畑での栽培活動、餅つきなどの活動を行った。

(4) 学外から委嘱された委員等

- ・ 日本教育心理学会理事
- ・ 日本心理学会専門別議員（第 1 部門）
- ・ 一般社団法人学校心理士認定運営機構認定委員会副委員長
- ・ 広島市立古田中学校学校協力者会議委員
- ・ 文部科学省「不登校生徒に関する追跡調査研究会」委員
- ・ 日本学校教育相談学会広島支部長
- ・ 財団法人こども教育支援財団ディレクター
- ・ NPO 広島産業カウンセリング研究会自由区顧問
- ・ 日本学校教育相談学会中央研修委員
- ・ 日本学校教育相談学会論文審査協力委員
- ・ 日本ピア・サポート学会研究紀要委員長
- ・ 東広島市青少年問題協議会委員
- ・ 東広島市教育委員会 学校教育レベルアッププラン推進委員会委員
- ・ 広島県立広島中学校・広島高等学校学校関係者評価委員

6. 研究紀要の刊行

- ・ 学校教育実践学研究（第 18 巻）の刊行